

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email: gakko@jpschool.cz

No.903 2017/12/18

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

3つの出会いでみんなは育つ

(終業式での校長講話)

プラハ日本人学校の2学期が終わると同時に、2017年、平成29年が終わります。チェコの人たちのクリスマスにあたる日本の大きな行事は、「新年を迎える」ということだと思います。去年も話しましたが、昔はお正月になると「歳神(としがみ)様」が来て、誰もが1歳年をとったのです。今では年齢は誕生日で増えますが、それでもお正月は大きな区切りの時です。

1年を振り返り、そして新しい年の目標を決めてください。

さて、12月31日の大晦日までは、この1年を振り返るといいですね。ただ、ぼんやりと思いついて出そうとしてもうまくいきません。プラハ日本人学校の3つの出会いから振り返ってみてはどうでしょうか。お友達や先生との出会い、チェコとの出会い、そして自分との出会いです。

小さな学校ですが、一番目のお友達・仲間との出会いは本当に大きな収穫ではなかったでしょうか。毎日の授業の中、掃除や係活動、ふだんの生活、そして行事の中で、自分の考えを伝え、人の意見に考えさせられ、気づき、時には悔しい思いをしたり、励まされたり、助けてもらったり、そうして自分一人では絶対に手に取れないものを自分のものにできたのではないのでしょうか。これをプラハ日本人学校では、「学びあい」と呼んでいます。学びあいは、毎日の新しい出会いであり、新しい発見の旅です。学習発表会は、そんな感想でいっぱいでした。そして、学びあいのもう一ついいところは、必ず「感謝の気持ち」が湧いてくるということです。学びあいは、時にはうまくいかないでけんかをしたり、仲が悪くなったりもします。コインに裏と表があるように、何事も「いいこと」と「悪いこと」はセットです。だからこそ、学びあいの良いところ、そして感謝の気持ちをしっかりと胸に刻み込みましょう。

二つ目は、チェコとの出会いです。チェコ文化理解の時間や校外学習、近隣校との交流など、たくさんの機会がありました。「自分の国を出ない者は、偏見に満ちている」という言葉があります。私たちは、少なくとも2つの国を行き来して、文化や歴史の違いを学ぶことができました。2つの国の違いを知ること、人間にとって最も大切な共通なものを見つけることができるのです。気付いたこと、わかったこと、考えたことは、忘れないように文字で残しておいてください。

そして、最後の自分との出会いです。今日の通知表は、自分との出会いですね。でも、ほんとうの自分との出会いは、毎日毎日あったはずですが、仲間からの言葉、先生からの言葉そしてお父さんお母さん〜の言葉が、鏡のように自分を映し出していたはずですが、自分との出会いで、決してしてはいけないことは、何でしょうか。2学期に一度話しました。それは「自分に嘘をつかないこと」そして「自分に正直であること」だと思います。自分をごまかさず、やけを起さず、しっかりと自分を見つめてください。

＝転出のお知らせ＝

小学部 2年 柘植 くん

2年 芹澤 さん

6年 芹澤 くん

中学部 2年 芹澤 くん

2年 丸山 くん

最後に「かしこい子、やさしい子、たくましい子、世界で生きる子」で冬休みも過ごしてください。よい冬休みを送ってくださいね。

海外子女文芸作品コンクール おめでとう！！

(詩の部) 佳作 澤村 さん(小1)

※裏面に作品を掲載しました。